



県民だより

第46号

●1992年1月21日発行 ●編集・発行/栃木県企画部広報課 〒320宇都宮市埜田1丁目1番20号 ☎0286・23・2158 ●県人口/1,955,412人/男973,985人/女981,427人●世帯数590,272世帯(1991年12月1日現在)

さ さ え あ う 心 と 心

広げよう 輪 地域福祉の



ホームヘルパーの長山さん(烏山町社会福祉協議会)は、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄りなどの家庭を訪問して、家事や介護などのサービスを提供しながら地域福祉を支えています。



心かよう 福祉社会の 実現のために

人生80年時代を迎えた今、住みなれた地域の中で、心身ともに健康で生きがいをもって暮らしたいというのは、誰もが願っていることです。これを実現させるには、県民のみなさま一人ひとりの参加と協力のもとに、充実した地域福祉社会づくりを進める必要があります。そこで県では、県民のみなさまが、地域の人々とのふれあいに包まれながら豊かな生活を送れるよう、地域福祉社会の充実に向けて各方面からの体制づくりを進めています。どうか、県民のみなさまにも、地域での福祉活動に対する幅広い参加と、なお一層のご理解をお願い申し上げます。



栃木県知事
渡辺 文雄

県では、明るく幸せな福祉社会づくりをめざして、地域住民のみなさんをはじめ各福祉団体等と協力して、地域福祉活動を充実させるための計画づくりやネットワークづくり等を、総合的に展開しています。

地域で暮らすすべての人々が、生涯にわたって必要な福祉サービスを受け、心身ともに健やかで生きがい満ちた生活を送れるようにするためには、私たち県民一人ひとりが、『福祉』を自らの問題として考え、理解と認識を深めていくことが大切です。ぜひこの機会にみなさんも、地域での『福祉活動』について考えてみましょう。



◆充実した社会福祉施設をつくる◆

ボランティア活動などに参加したいと思っても、仕事を持っていたりすると、集まれるのは夜や休日に限られてしまいます。また、活動に必要な機材なども備えるのが大変です。

このため、サークル活動やボランティア活動として行われる交流・研修などに、休日でも夜間でも利用できる地域福祉の拠点として、また、さまざまな地域福祉サービスを推進するための施設として、『地域福祉センター』の建設を促進しています。現在、県内14の市町に設置されており、シルバーサークルやボランティア活動など多くの方々に利用されています。

◆福祉を支える人たち◆

地域福祉活動を活発に行い、質の高い福祉サービスを安定して供給するためには、施設の整備を図ることとあわせて、福祉を担う人を養成確保していくことも大切です。現在県内には、次のような『福祉を支える人たち』がおり、社会福祉関係団体等と連絡をとりながら地域において活動しています。

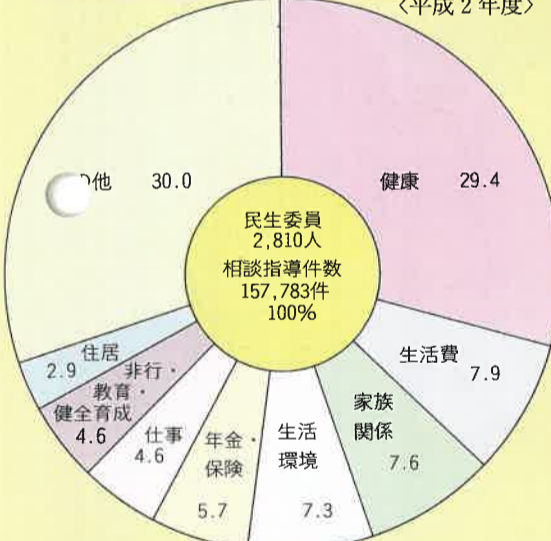
(1) ホームヘルパー

ホームヘルパーは、市町村や社会福祉協議会などの職員で、寝たきりやひとり暮らしのお年寄りなどの家庭を訪問し、介護や家事などその家族が必要とするサービスを提供しています。

(2) 民生委員・児童委員

県内の各地域で、二、八〇名の方々が民生委員・児童委員として活躍しています。民生委員は、地域住民の福祉の増進のために、いろいろな悩みごとなどの相談のついでに、なお、児童委員としての仕事も持っているもので、小・中学校などにも出かけていきます。

〈民生委員・児童委員の相談指導状況〉
〈平成2年度〉



資料：県民生活部厚生課調べ

(3) 社会福祉士・介護福祉士

社会福祉士は、福祉に関する相談に応じたり、助言や指導その他の援助をする人で、介護福祉士は、お風呂・トイレ・食事などを直接お世話したり、その方法について指導する人です。両方とも専門的な知識や技術をもって、身体上・精神上の障害等により日常生活に支障がある人々を援助しています。

(4) ボランティア

ボランティアは、ラテン語の『ボランティアール』(自由意志)が語源といわれており、それがフランス語で『ボランティア』(意志)となり、英語の『ボランティア』という言葉が使われるようになったといわれています。県内では、手話通訳、訪問活動、給食・配食サービスなどに多くのボランティアの方々が活動しています。ボランティアに参加してみたい方は、市町村の社会福祉協議会にお問い合わせ下さい。

(5) 社会福祉協議会

社会福祉協議会は、『地域の人々が知恵を出し合い、力を合わせ、地域みんなが幸せに暮らせることをめざして活動する』団体で、すべての市町村に組織されています。なかには、学校区や自治会単位などの地区社会福祉協議会を組織して活動しているところもあります。みなさんの家庭でも、この会の会員として、みんなの幸せづくりに役立てるお金の一部を、会費という形で負担しているのではないのでしょうか。



「鹿沼市総合福祉センター」



とちぎ再発見

〈日本一シリーズ〉

■ 大前恵比寿 (真岡市)

真岡市の中心を流れる五行川のほとりに、延喜式内大前神社が祀られています。大前神社には、栃木県のふるさとの特産である大谷石造りと、益子焼陶板の福波紋でできている大変見事な内殿があります。また、内陣(御本尊を安置しているところ)では、下野國史に記載されています宝物「大黒天」と「恵比寿」様を拝むことができます。このように、栃木県文化財にも指定されている本殿・拜殿・鳥居など数多くの歴史建造物がたたずむ森の中に、平成元年12月10日、地元や若い人々の願いと協賛によって日本一のえびす様が誕生しました。

古来から、大前神社の神様は鯉であると言われていました。この故事にちなんで、高さ20メートルのえびす様は、鯉を抱えています。また、容姿は神社に伝わる神楽の「えびすだいきこ舞」のえびす様のお姿で、二宮尊徳先生の遺跡「大前塚」を向いてそびえています。大きな福袋を背負い打手の小槌を持つ大黒様と、恵みの鯛を抱えるえびす様は「えびすだいきこ、福の神」と言われ、二福神として知られています。また、大変ユーモラスな表情をしているので、笑顔を振りまく親子の神様とも言われています。

栃木県の真中を流れる鬼怒川の清流と東部を流れる小貝川、そして五行川の三川は、真岡市のふるさとを生みだしています。この自然の恵みのなかに伝統的なお社が今日まで伝えられてきたのも、祖先の心づかいが、未来永久にゆきわたるよう恵比寿様が教えて下さっているからなのです。

※大前神社
〒321-43 真岡市東郷937
☎0285-82-2509 (社務所)



▲大前恵比寿

受け継がれる伝統の技

—とちぎの伝統工芸品—



今回は、栃木県伝統工芸品のうち、染色品(4品目)、諸工芸品(15品目)の一部について紹介します。

染色品 正藍染、草木染、益子草木染、黒羽藍染

『織物の街』足利には、天然の藍草を使う藍染や草木を使った染色が今でも伝えられています。正藍染は、伝統の技術に独特の工夫を凝らしたカゴの染めを特徴とし、着尺や洋服・小物類として愛用されています。また草木染は、化学染料にはない素朴な風合いと重ね染めによって色調が変化する『玉虫染』の表現を特徴とし、ショールや小物類として愛用されています。

益子町でも、草木から抽出して天然の色素で布を染める益子草木染があります。200年以上の伝統を持ち、テーブルクロスや壁掛け、着尺等に藍・紅など素朴な美しさと深い味わいを見せてくれます。また、黒羽町でも文化文政年間に始めたと言われる草木染の一種『黒羽藍染』があり、壁掛けやのれん等に利用されています。

諸工芸品 ふくべ細工、大谷石細工、黄鮒、野州てんまり、三味線、琴

宇都宮市には、細工物・縁起物など色々な工芸品があります。

生産高全国一の干瓢の外皮(ふくべ)を乾燥させ細工を施したふくべ細工は、江戸時代を始まりとし、花器や炭入れ・魔除けのお面など、全国でも類を見ない工芸品として知られています。

北西部の大谷地区から採掘される大谷石は細工が容易で、建築材や灯籠、庭の置物、縁起をかついだ蛙の置物等として盛んに使われ



▲ふくべ細工



▲黄鮒

紅木・紫檀を主材料として作られる三味線は、温度や湿度の変化に強い影響を受けるため、繊細な技術を要します。宇都宮市のほか大田原市でも三味線づくりが行われています。また、琴は、材料の乾燥に約3年をかけ、反りや起りの具合で音質が決まってしまう、技術とそれらを見極める目が重要です。乾燥から最後の弦張りまで、昔ながらの手作業で作られています。

栃木県商工労働観光部工業課 ☎0286-23-3199

まもなく開催!

『あつたがハートフェスティバル』

▶人気タレントのトークショーやパントマイムなど、楽しいステージを通して、福祉を身近に感じてください。

〔日時〕 2月16日(日)
開場 12時30分
開演 13時

〔場所〕 黒磯市文化会館

〔問合せ〕 県民生活部厚生課
(☎0286-23-3047)
県社会福祉協議会
(☎0286-22-0524)

◆まず、『福祉』にふれてみよう!
県では、「本来誰もが持っている、あたたかい気持ち」を、地域の人たちみんなが出し合い協力しあって、心の通い合う福祉社会をつくってほしい」という願いをこめて、みなさんが気軽に参加できる福祉イベントを開催しています。
より多くのみなさまに、福祉を身近なものとしてご理解いただき、だれもが幸せに暮らせる福祉社会をつくるため、このイベントへの参加とご協力をお願いします。

◆まず、『福祉』にふれてみよう!

◆21世紀への福祉教育◆
本場に住みよくて、ふれあいあふれる地域社会をつくるためには、多くのみなさんの参加と協力が必要です。しかも、誰かからの強制を受けてしかたなく参加するというものでは、地域のまとまりはなかなかできません。実際にやったことも身につかないかもしれません。そこで、小さい頃から福祉活動にふれることにより、おとなになったときに進んで地域の活動に参加することができるよう、小・中・高校生を対象とした『ボランティア活動普及事業』を実施しています。
この中では、福祉の調査・研究や体験学習、福祉関連行事へのお手伝いなど、さまざまな活動を行っています。みなさんもぜひ一度、参加してみてください。



〈上三川町社会福祉協議会のサマーボランティアスクール〉

◆福祉サービスの充実に向けて◆

- ① ホームヘルプサービス事業
寝たきりで介護が必要なお年寄りなどいる家庭やひとり暮らしのお年寄りの家庭に、日常生活のお世話をすため『ホームヘルパー』を派遣する制度があります。この制度は、ホームヘルパーが家庭を訪問して、寝たきりのお年寄りのお世話や、ひとり暮らしのお年寄りの掃除・洗濯などの家事の手助け、生活や身の上についての相談などを行っています。
- ② ショートステイ事業
家で寝たきりの人や痴呆のお年寄りを介護している家族が、病気や冠婚葬祭、介護疲れによる休養や旅行などでお世話ができない場合に、特別養護老人ホーム等でお年寄りを短期間(原則として7日以内)お預かりしてお世話をしています。
- ③ デイサービス事業
デイサービス事業は、デイサービスセンターに送迎して、お年寄りに週1〜2回程度、入浴サービス・食事サービス・日常生活動作訓練などを行う事業です。こうしたことにより、お年寄りの健康チェックや心身の機能の維持向上を図ることとあわせて、ご家族の身体的・精神的負担を少しでも軽減していただきたいと思います。

『栃の実基金』はこんなところに役立っています。

- ① ひとり暮らしのお年寄りへの給食サービス
- ② 心身障害児地域交流キャンプ
- ③ 福祉講演会、福祉まつり等の開催
- ④ ふれあいのつどい
- ⑤ 地域児童文庫
- ⑥ ボランティア活動のための機材整備
- ⑦ ボランティアスクール
- ⑧ ボランティア保険料の助成

※『栃の実基金』は、平成2年度末で、約十一億円になっています。



④ 栃の実基金
栃木県には、県と県民のみなさまの善意によってつくられた『栃の実基金』があります。これは、栃木県社会福祉協議会に設置されているもので、県・各市町村の社会福祉協議会の行うさまざまな福祉活動をはじめ、ボランティア活動への支援などのために役立っています。

情報スクランブル

県庁のあて先
〒320 宇都宮市埴田1-1-20

催し

県立博物館の催し

- ▶第38回企画展
「器(うつわ)ーその形と名前ー」
〔期間〕 2月9日(日)～3月22日(日)
(※毎週月曜、祝祭日の翌日は休館)
〔時間〕 午前9時30分～午後5時
〔内容〕 様々な器について、その歴史的変遷や美について紹介します。
〔観覧料〕 一般200円、大学生・高校生100円、小・中学生50円
- ▶栃木県郷土芸能大会
〔日時〕 2月2日(日) 午後2時～4時
〔参加料〕 無料
〔定員〕 150名
〔申込み〕 電話で同館人文課へ
(☎0286-34-1313)
- ▶県央部遺跡めぐり
〔日時〕 3月15日(日) 午前8時～午後5時
(県中央公園集合午前7時45分)
〔見学地〕 栃木市、小山市、壬生町
〔定員〕 45名
〔参加料〕 50円
〔申込み〕 3月4日までに往復はがきで

体験学習

期 日	内 容	対 象
2/9(日)	十二単とよろいを着よう	小・中学生～ 一般200名
2/23(日)	おひなさまを作ろう	小・中学生 30名
3/8(日)	石うすとおこしにチャレンジ	小・中学生 30名
3/22(日)	化石割り	小・中学生 30名

〔時間〕 午前10時30分～11時15分
〔参加料〕 無料
〔申込み〕 当日受付へ

映画会

期 日	内 容
2/9(日)	・りゅうの雨(アニメ) ・山の太郎グマ(アニメ) ・朱鷺
2/23(日)	・ニルスの不思議な旅(アニメ) ・石の文化

3/1(日)	・りすのパナシ(アニメ) ・野州鉄づくり ・炭焼き
3/8(日)	・がんばれスイミー(アニメ) ・日本のシカたち
3/22(日)	・コロポックルのすてきなおりもの(アニメ) ・自然の観察一花一

〔時間〕 午後2時～3時
〔会場〕 博物館講堂
〔入場料〕 無料
▶問合せ 県立博物館 (☎0286-34-1312)

県立美術館の催し

- 企画展「ドイツ表現主義ブリュッケ展」
▶期間 2月9日(日)～3月22日(日)
(※毎週月曜、祝祭日の翌日は休館)
▶時間 午前9時30分～午後5時
▶内容 キルヒナー、ヘッケル、ノルデらによって形成された20世紀初頭のドイツの表現主義グループ「ブリュッケ(橋)」を、ベルリンのブリュッケ美術館所蔵の油彩、水彩、素描、版画114点で紹介いたします。
▶観覧料 一般610円、大学・高校生410円、中・小学生200円
▶問合せ 県立美術館 (☎0286-21-3566)

県営公園「緑の相談所」の催し

期 間	行 事 名
2/8～16	第5回栃木県都市公園写真コンクール作品展
2/16	緑の映写会「ニルスのふしぎな旅」他
2/19～28	栃木の野鳥写真展
3/1～8	庭園と庭木草花写真展
3/14～15	春ラン展
3/22～29	緑の相談所受講生作品展
2/1～5	おしほ美術展
2/8～11	洋ラン展
2/9	講座「洋ランのふやし方」
2/14～17	ウメ・フクジュソウ・雪割草展
2/26	園芸教室「ウメ・フクジュソウの育て方」
2/21～27	第5回栃木県都市公園写真コンクール作品展
3/1～10	園芸用具と資材展
3/8	盆栽講座(II)
3/14～17	パンジー・チューリップ展
3/21～24	春らん展
3/24	庭園づくり講座(II)
3/26～31	春の井頭公園写真展
2/2～11	栃木の植物写真展
2/15～24	世界の公園フォトの旅
3/1	園芸教室「生垣の作り方と手入れ」
3/1～8	生垣垣根写真展
3/8	講座「果樹の作り方と手入れ」
3/15	講座「山草の作り方(II)」
3/20～29	春の植物写真展
3/22	緑の映写会「緑と人々の暮らし」他

- ▶問合せ 中央公園緑の相談所 (☎0286-36-7621)
井頭公園緑の相談所 (☎0285-82-4475)
那須野が原公園緑の相談所 (☎0287-36-1220)

子ども総合科学館の催し

行 事 名	期 日 等	備 考
科学講座「がんのバイオサイエンス」	1/26(日) PM1～3時	一般30名 電話で申込
第4回動くおもちゃ作品展	2/2(日)～16(日)	入場無料
科学工作教室「ホバークラフトをつくろう」	2/2(日) PM1～3時	小学生25名 電話で申込
工作教室「マカロネリーフをつくろう」	2/9(日) PM1～3時	小学生27名 電話で申込
天文教室I	2/9(日)・3/8(日) AM10時30分～正午	小学生高学年以上
天文教室II	2/9(日)・3/8(日) PM1時30分～4時	高校生～一般
天文台公開	2/2(日)・3/1(日) PM1～3時	75cm反射望遠鏡の公開
エンジン教室	2/11(日) PM1～3時	小学5年以上 12名電話で申込
おりがみ教室	2/16(日)・3/15(日) PM1～3時 ②PM3時10分～4時10分	①小・中学生 ②高校～一般
天体観測会	2/1(日)・29(日) PM7～9時	80名 電話で申込
科学映画会	2/16(日) AM11時～PM1時	入場自由 40名ずつ
冬のパソコン教室「パソコンで遊ぼう」	2/23(日) PM1～3時	小学生30名 電話で申込
第12回企画展「楽しい空気の実験室」	3/8(日)～4/12(日)	
科学教室「おもしろ静電気実験」	3/1(日) AM10時～正午	
プラスチックムコンサート	3/21(日) PM7時～8時30分	定員300名

- ▶申込・問合せ先
☎321-01 宇都宮市西川田町567
県子ども総合科学館☎0286-59-5555

募 集

平成4年度 県立高等産業技術学校養成訓練生の募集

- ▶次のとおり普通課程2類(高等学校卒業生対象)の訓練生の募集を行います。

学 校 名	課 名	定 員
宇都宮高等 産業技術学校	機 械 科	若干名
	電 子 機 器 科	8 名
	配 管 科	若干名
氏 家 //	OA ビ ジ ネ ス 科	9 名
	電 気 工 事 科	若干名
県 南 //	電 気 設 備 技 術 科	15 名
	フ ァ ッ シ ョ ン デ ザ イ ン 科	10 名
	情 報 ビ ジ ネ ス 科	10 名

※訓練期間はいずれも1年

クリーニングトラブル事例から

クリーニングトラブル事例から —消費者として考えること—

クリーニングでこんな経験をして困ったことはありませんか?

- ① 大切なセーターが縮んでしまった
- ② 革のジャンパーが変色してしまった
- ③ ワンピースの袖部分の糸が奇ったようになった

このようなクリーニングに関する相談が、消費生活センターにたくさん寄せられています。

そこで、受け付けた相談の原因がどこにあったかを調べると「クリーニング店に問題があったもの」「製品に欠陥があり、洗うことによりそれが表面化したもの」「消費者がファッ

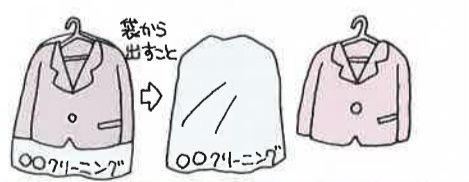
ション性を優先させた商品選択により起きる事故」などの原因に分けられます。

では、先の①～③は、何が原因だったか簡単にまとめてみましょう。

- ①→ドライクリーニングのみ作用が強すぎたために、毛の繊維が互いからみあって縮んでしまった。
- ②→皮革製品をクリーニング時に脱色してしまった。色を掛け直してもらって解決。
- ③→サイズがきつくと、着用中に目寄せ(糸がすべって移動してしまう)をしてしまった。

クリーニングトラブルは、消費者のみさんのちょっとした心がけで防げ、満足のいく仕上がりを生みます。「ポケットの中身、破れやほつれがないか確かめる」「高級なボタン類ははずしておく」「しみがある場合は、種類や付着してからの日数を店側に伝えておく」などを心がけましょう。

また、受け取る時は、必ずその場で確認をしましょう。それでもトラブルが起きた場合は当事者でよく話し合います。解決しない時は、消費生活センターにご相談下さい。



●お問い合わせ、ご相談は—
消費生活センター ☎0286-34-3181

県政テレビ番組「ウィークリー栃木」

毎週木曜日 AM8:30～8:45 テレビ東京12チャンネル

県内各地のホットな話題を私たちがレポートします。ヨロシクね～!!



番組に対するご意見・ご希望・身近な情報等をハガキでお寄せください。

県政ラジオ番組 (栃木放送)

- 県民の窓
毎週日曜日～金曜日
午後0時15分～0時30分
- 県庁ダイアリー
毎週月曜日～土曜日
午前8時42分～8時47分
- 県政アラカルト
「知事さんこんにちは」
毎月第3日曜日
午前9時15分～9時45分



文字放送

■NHK総合テレビの電波に多量、県からのお知らせ、生活情報を常時放映しています。

・毎日午前6時～午後12時
1チャンネル(550号)

■文字放送を見るには…

文字放送受信機能を組み込んだ文字放送内蔵型テレビか、文字放送専用アダプターが必要です。くわしくは、お近くの電気屋さんでおたずねください。



あなたの声を県政に

- 県政についてのご意見・ご要望・苦情をお受けしています。また、日常生活でお困りのことなど、お気軽にご相談ください。
- 県が発行する報告書やパンフレットを展示、ご希望の方にはおわけしています。是非、ご利用ください。

- 中央県民センター ☎0286-23-3765
- 県南県民センター ☎0282-24-5665
- 県北県民センター ☎0287-23-1555
- 上都賀県民相談室 ☎0289-64-9419
- 安蘇県民相談室 ☎0283-24-2603
- 塩谷県民相談室 ☎0287-43-2142
- 芳賀県民相談室 ☎0285-82-5888
- 足利県民相談室 ☎0284-42-9700
- 南那須県民相談室 ☎0287-83-1555